

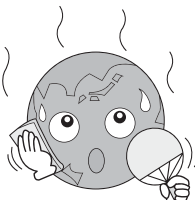
地球温暖化をくい止める！

- ◆「こんなことできるの？」ではなく！
- ◆くい止めなければ、将来に危機がせまっています！
- ◆市民の一人ひとりが考え、行動する時は、今！
- ◆アメリカ大陸の原住民ネイティブ・アメリカンの人たちの自然観は「この大地自然は、子孫からの預かりものである」と考えています。
- ◆今、先進諸国の生活の仕方は、この預りものをズタズタに破壊してきたと言っても、過言ではないでしょう。
- ◆その影響が、今いろんな形で我々の生活を脅かしつつあります。

●環境フォーラム

“地球温暖化について考えよう”

地球温暖化が急速に進んでいる今だからこそ、あなたの子どもや孫、そしてあなた自身のために環境フォーラムにぜひ参加してください。心からお待ちしています。



日時…9月20日(土)午後1時30分～4時

会場…コミセンやす大ホール

対象…どなたでも（申し込み不要）

内容…温暖化はどうしておこるのか？地球温暖化の現状、そして将来は？温暖化を抑制するにはどんな行動が有効なのか？私とあなたは、今何をすればよいか？等についてお互い学び合います。

また、環境基本計画のごみ・資源部会の取り組み報告やエコドライブ実践方法の説明をします。

主催…環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」ごみ・資源部会、環境課

問い合わせ…環境課 ☎ 589 - 6431、589 - 5069

ふれあい教育相談センター

「土曜日教育相談」を開催しています

お子さんが学校での人間関係で悩んでいた、学校に行かない、または行きにくいという状況でお過ごしの方、ふれあい教育相談センターのカウンセラーがお子さんや保護者の話をお聞きます。

日ごろの悩みを解く糸口になるかと思えますので、今までふれあい教育相談センターに来られたことのない方も、この機会にぜひご利用ください。

■9月の「土曜日教育相談」

日時…9月13日(土)午前9時30分～正午

会場…ふれあい教育相談センター

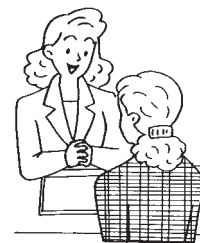
対象…市内在住の小・中学生とその保護者

費用…無料

申し込み・問い合わせ…同センター ☎ 587 - 6925、587 - 2004

※相談はできるだけ事前予約してください。（当日も可）

土曜日教育相談は、奇数月の第2土曜日の午前中に定期的に行っています。



し尿汲取日程

- ◆汲取予定日に留守になる家庭は隣近所に頼んでおいてください。
- ◆土・日曜日、祝日は休みです。
- ◆野洲・三上・北野・祇王・篠原学区については、汲取の必要な場合は予定日の2日ほど前から汲の赤い旗を作業員の見える所へ出してください。旗が出ていないときは、汲取はできません。
- ◆汲取の申し込み・支払いは、直接業者へ。

問い合わせ…環境課 ☎ 589 - 6431、589 - 5069

汲取予定日	行政区および字名
1日～3日	比留田
4日	西河原・吉地
8日	乙窪・北比江
10日・11日	比江・松林
16日	吉川・菖蒲
18日	六条
22日	井口・堤・安治
25日・26日	須原・野田・五条
29日	虫生・木部・八夫

【近江美研】

☎ 589 - 4870、589 - 2759

汲取予定日	行政区および字名
1日・2日	久野部・竹生・北野一丁目
4日	富波甲・富波乙・五之里
8日	辻町・上永原
9日	上町・下町・上屋
11日	江部・中北・北
16日	小南・高木
18日	篠原駅前・長島
22日	成橋・街道
25日	入町・大篠原東町・大篠原西町
29日・30日	小堤

【近江美研】

☎、589 - 5069

汲取予定日	行政区および字名
1日・2日	大畑・七間場
3日～5日	行畑・野洲
8日～10日	小篠原・桜生・駅前
11日・12日・16日	市三宅・妙光寺
17日～19日・22日	三上
24日・25日	北桜・南桜
26日・29日・30日	五反田・山田・縄手・樋ノ尻・稲辻・富波南

【奥村興業】

☎ 587 - 0015、587 - 0352

フリーダイヤル ☎ 0120 - 424110

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

歴史民俗博物館

☎587-4410、Fax587-4413

(48)

盛大な 兵主祭

◆まちかど博物館「吉地を歩く」

■9月27日(土)午後1時30分から(市役所分庁舎 駐車場集合) ※小雨決行

吉地の遺跡や文化財を探訪し、その魅力を再発見します。どなたでも参加できます。申込不要。参加費無料。
※博物館友の会と共催

◆改修工事および館内燻蒸に伴う臨時休館のお知らせ

■9月16日(火)～30日(金)

10月1日からリニューアルオープンします！



野洲市五条にある兵主大社は、御上神社などと並び古代からのお宮さんとして知られています。その氏子圏は広く、かつての兵主十八郷が参加する5月5日の春祭りは最も盛大で華麗な祭礼です。その歴史は古く、1497(明応6)年にはすでに「兵主十八かう(郷)」による「四月御まつり」の姿が見え、氏子の村々が一年交代で「渡番」を勤める形態は、中世後期にその源がたどれるといえます。

現在の兵主祭では、5月5日の午前11時頃、村々から神輿や子ども神輿・太鼓が兵主大社へと集まり、神社の参道は人々で埋め尽くされます。稚児行列、子ども神輿や子どもの太鼓、女性がかつぐあやめ神輿や大き

な桶胴太鼓なども出て、野洲市域でも最も大きな祭りとなっています。

子どもの神輿や太鼓は比較的新しく近年はじまったものですが、七社の神輿は兵主二十一社のうち上七社のもので、古い伝統を誇っています。大宮の神輿は野田・五条・六条・須原・井口の五ヶ村が1年交代にかつぎ、他の六社は西河原・堤・吉川・安治・小比江・比留田の六ヶ村が一社ずつかつぎます。この祭りの特色は、七社の神輿が兵主大社に集まってくるところにあり、これは兵主神の分霊と伝えられ、末社となっている村氏神が親神である兵主大社へ集合する形態といえます。七社の神輿が1550(天文19)年建立の楼門に鎮座する姿は、春祭りのもつ歴史の奥深さを感じさせます。

神輿の渡御を中心にした祭りですが、今日では太鼓も大きな要素となっています。この大きな太鼓の渡御は、鉦とセットになった近江八幡における太鼓祭などとは異なり、鉦を伴わないのが特徴のようです。

ところで、堤自治会の古文書を見ると、1867(慶応3)年5月5日堤村が渡番であった時の「兵主大神宮様御神事当村渡ノ記録書」には、御児・紙幣・衣(絹)幣をはじめとする役割に、「太鼓持」2名が記されています。この記述のとおりである



とすると、太鼓は2人がかつぐことができる程度のものではないかと考えられます。現在祭りに出される太鼓は、どのムラも大きな太鼓が若者によりかつぎ出されています。

兵主祭に出された井口の太鼓の張替えをされるので太鼓の胴の中を確認させていただいたところ、3つの記録が記されていました。最も古いものは1873(明治6)年4月の太鼓屋さんの墨書で、この時太鼓が製作され、それ以後この太鼓が祭りに使用されたものと考えられます。小口径88.5cm、胴の長さ119cmもある大きな太鼓です。それ以前はどうだったのでしょうか。

太鼓をかつぐのは若者で、太鼓の祭りは若者文化そのもののようになっています。井口の事例などから考えると、幕末から明治の初頭頃に競って大きな太鼓を求め、祭りに持ち出すようになった可能性が考えられます。兵主祭に新しい要素が加わっていった一面を見ることができるようになっていますが、今後の研究を期待したいと思います。

(歴史民俗博物館学芸員 古川与志継)